

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる	一般小売店〔土産〕 （経営者）	・乗客数増加、売上増加の傾向は、半年以上継続している。今後もこの傾向が大きく変わることはない。	
		スーパー（営業担当）	・地元プロ野球球団の優勝がほぼ確実視されるため、今後販促企画が各業種で積極的に行われ、消費は活発化する。	
	やや良くなる	商店街（代表者）	・地域の専門電器店にとって、デジタルテレビの価格低下はマイナスであるが、売上は安定してきている。また、オール電化などの高単価商品も売れてきており、今後はやや良くなる。	
		百貨店（売場主任）	・今月で上期が終わるが、前年に比べて売上はかなり増加している。これから各店が新装開業し、多数の集客が見込めるため、売上は少しずつ伸びてくる。	
		乗用車販売店（経営者）	・10月に主力車種がフルモデルチェンジするため、それ以降販売台数は増加する。	
		乗用車販売店（従業員）	・春から夏、また秋に向けて、需要は若干伸びている。バブル期のように何でも売れる時代は来ないが、全体的にはこしばらくは良い傾向が続く。	
		乗用車販売店（従業員）	・盆休み後の業績が多少良い傾向にあるため、今後、9月決算、年末に向けて、多少良くなる。	
		住関連専門店（営業担当）	・持家住宅、賃貸住宅とも受注増が見込める。一般建築も、設備投資が引き続きおう盛である。	
		スナック（経営者）	・売上は、前年同月比で1割前後の増加が、約20か月間続いている。2、3か月先も、今月より入出が増えて、売上はやや良くなる。	
		観光型ホテル（販売担当）	・愛知万博終了後丸一年が過ぎ、反動減がなくなって、ようやく通常の流れになる。	
		都市型ホテル（支配人）	・名古屋駅周辺の新築オフィスビル群の開業前需要がある。	
		都市型ホテル（従業員）	・今後の予約数は好調に推移している。	
		ゴルフ場（企画担当）	・来月以降の予約数は、前年を大きく上回っている。2、3か月先も少しずつ良くなっていく。	
		その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・入校問い合わせ件数は、やや増加している。	
		設計事務所（経営者）	・今までは企業案件が安定的であったが、個人住宅の案件も出始めており、今後はやや良くなる。	
		住宅販売会社（経営者）	・金利が上がると月々の返済が増えるため、早めに購入しようとする傾向がある。この傾向は今後も続く。	
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・元請の受注状況を見ると、新築物件が増加している。今後、良くなる兆しである。	
		変わらない	商店街（代表者）	・客は相変わらず必要以外の物を購入せず、自家消費商品が思うように伸びていない。この傾向は今後も続く。
			一般小売店〔書店〕（経営者）	・今月は競合店出店の影響が強く出ているが、来月以降はその影響が徐々に減少する。
			一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・この2か月間は横ばいにあり、この先も年末までは、安定したまま変わらない状態が続く。
百貨店（売場主任）	・暑い日が続いているせいだが、秋冬物の動きが芳しくない。このまま冬まで続く可能性もある。			
百貨店（企画担当）	・気温がやや高く推移するという予測から、秋冬物の季節商材が苦戦する。			
百貨店（企画担当）	・ユーロ高に伴う輸入商材の価格上昇や、競合店の改装開業による競争激化といったマイナス要素が控えている。自店の売場改装などをして、今後売上が大きく伸びる状況は考えにくい。			
百貨店（企画担当）	・宝飾品などの高額品は徐々に売れているが、婦人服や紳士服などの主力商品はばらつきが非常に大きい。この消費動向は今後も変わらない。			
百貨店（経理担当）	・景気のパロメーターと言われる紳士服関連は好調であるが、全体的にはまだまだである。来客数もそれなりにあるが、販売には結び付いていない。今後も財布のひもが固い状況が続く。			
百貨店（販売促進担当）	・正価の定番商品の動きは良くなっているが、セール品の動きが極端に悪い。今後所得格差が広がると、全体的には来客数は減少する。			

スーパー（経営者）	・スーパー業界は、大型店の進出やコンビニの増加で、今後も一段と厳しい状況が続く。
スーパー（経営者）	・売上は下げ止まってきているが、3か月先ではまだまだ良くなるまでにはいかない。
スーパー（店長）	・原油価格の高騰は、今後より一層、食品、雑貨類の価格に影響を及ぼす。それに伴い客単価が上昇しても、実質の消費は依然として回復しない。
スーパー（店員）	・ここ数年、商品単価がかなり低下しており、最近では販売量があっても商品単価は低下傾向にある。今後も販売量が増加しても商品単価が低下するため、売上は伸びない。
スーパー（仕入担当）	・10%前後の客はチラシの内容によってスーパーの買い回りを行っているが、90%前後の固定客は安定して来店してくれる。今後も天候が例年どおりであれば、安定した売上が見込める。
コンビニ（経営者）	・今月は暑さのためビール、飲料水の売上が前年並みにあり、全体では何とか前年比プラスになるが、利益を出せる状態にはない。昔のように、忙しければ利益が出るという状況にはほど遠い。今後も現在の傾向が続く。
コンビニ（エリア担当）	・今後、上期末の競合出店の影響や、酒類免許の自由化に伴う影響が出てくる。
コンビニ（エリア担当）	・売上が厳しい状況は、今後も当分継続する。
コンビニ（エリア担当）	・来客数の減少に歯止めを掛ける材料が、今のところ見当たらない。今後も現在の傾向が続く。
衣料品専門店（販売企画担当）	・同業者や取引先の廃業が増加している。業界の高齢化も進んでいる。今後、生き残りの道を模索していく。
家電量販店（店員）	・パソコン、テレビの単価は下落していくが、洗濯機は乾燥機能一体型を中心に上昇していく。全体では、やや悪い状態を維持する。
自動車備品販売店（経営者）	・イベントなどの企画に、客が集まりにくくなっている。今後來客数を増やす企画を打ち出せなければ、景気は良くならない。
乗用車販売店（従業員）	・大きく変わる要素は少ない。ただし、ガソリン価格の高騰に伴い、燃費の良い車への台換えにつながる可能性はある。
乗用車販売店（従業員）	・維持費を少しでも安くしようと、小型車を中心に、最近になって来客数は増え始めている。今後もこの傾向は続く。
乗用車販売店（従業員）	・ガソリン価格が高止まりしているが、燃費の良い車両への台換え需要を創造する販売活動を展開する。
乗用車販売店（従業員）	・原油価格の高騰により、小型車の販売が増加する。販売量の大幅な増加は見込めないが、前年並みは維持できる。
高級レストラン（スタッフ）	・愛知万博効果の反動はまもなく解消するが、個人、家族の来客数の伸び悩みは解消しそうにない。販売促進を強化しているが、期待した成果は得られそうにない。
一般レストラン（経営者）	・原油価格の高騰や、ユーロ高に伴う輸入品の値上げがある。
スナック（経営者）	・今年は、客の多くが夏休みのレジャーなどでお金を使っているため、9月は暇になる。
都市型ホテル（経営者）	・当面は周辺企業の工場建設などに支えられて、関係客の来客により、現在の稼働率を維持できる。
都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊の予約状況は良くないが、研修の予約、問い合わせは増えている。
旅行代理店（経営者）	・10月以降の国内、海外旅行、特に正月の旅行の申込状況は、今一つ動きが鈍い。
旅行代理店（経営者）	・高齢者は将来に不安があり、財布のひもは固い。若者はかつてと比べて所得が低く、中年も教育費や住宅ローンを抱えている。その結果旅行動向は、安価、近隣、短期になっている。テロの影響や原油価格の高騰もあり、今後はますます響いてくる。
旅行代理店（従業員）	・秋以降に大きなイベントや国民的行事はないため、旅行人口が大きく増えることはない。秋の紅葉ツアーなどでは天候、気候に影響されるが、全体として横ばいで推移する。
旅行代理店（従業員）	・9月の旅行申込状況は、今一つ思わしくない。
タクシー運転手	・昨年のような悪い状態に戻っており、繁華街の人出も少ない。3か月後に良くなることはない。
通信会社（企画担当）	・競争はますます激化しており、秋口までは今の状況が続く。
パチンコ店（経営者）	・パチンコ業界への規制が以前より厳しくなったため、業界全体の競争が激化している。今後もこの状況が続く。

	その他サービス〔珠算塾〕（経営者）	・通常なら新学期に入ると生徒数は増えるが、今年はその傾向がみられない。しかし現在は底状態なので、今後も変わらない。	
	住宅販売会社（従業員）	・しばらくは自動車産業の従業員が増加し、三河地方では引き続き、シングルタイプのアパートや賃貸マンションの建築が堅調に推移する。	
やや悪くなる	一般小売店〔酒〕（経営者）	・酒類免許の自由化に伴い、大手スーパーやディスカウントショップ、コンビニなどとの競争が一段と激しくなる。転業、廃業する同業者も多く、先行きは非常に厳しい。	
	コンビニ（エリア担当）	・今月は、来客数は増加しても単価が低下している店が多い。来客数の増加が天候による影響とすると、今後は来客数が落ち着いてくる。その時単価が低下したままなら、売上は減少する。加えて、ガソリン価格の高騰が続き、消費税の増税が現実化すると、ますます落ち込む。	
	衣料品専門店（売場担当）	・今年に入って徐々に売上が減少しており、なかなか上向きにならない。集客イベントや改装オープンで少しは回復しても、上向くのは難しい。	
	その他専門店〔貴金属〕（店長）	・この数が月、高額商品の売上が減少している。客は品定めから購入まで時間を掛けており、慎重である。今後もこの傾向は続く。	
	観光型ホテル（経営者）	・原油、原材料や製品価格の上昇及び金利の上昇が企業経営に与える影響は小さくない。漁業が盛んな当地域でも、燃料費の高騰が地域経済に影響しており、当ホテルの地元需要も伸び悩んでいる。今後、景気は回復というより、悪くなる要素が大きくなってくる。	
	パチンコ店（店長）	・来年に向けて、撤去する機種が増加しており、コストが増加する。	
	理美容室（経営者）	・今後は、必要に迫られた客しか来店しない傾向が一層強くなる。	
	美容室（経営者）	・美容院の数は今後ますます増えて、競争は激化する。また、ヘアカラーを自分で簡単にできる製品も増えてくるため、さらに厳しくなる。	
悪くなる	商店街（代表者）	・大型量販店との競争で、中小の小売店は壊滅状態である。今後も一段と厳しい状況となる。	
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・介護保険法の改正以前の顧客数や売上を回復するには、2年近くかかる。	
企業動向関連	良くなる	-	
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・受注量、販売量とも、現状より約5%増加する見込みである。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・出版物広告への出稿量が増加しており、今後も緩やかながら右肩上がりが続く。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・増産の必要から、設備増強を計画している取引先が3社ほどある。その発注増の見込みを知らされている。
		輸送用機械器具製造業（統括）	・再建中の主力取引先が次第に回復してきており、やや良くなる。
		会計事務所（社会保険労務士）	・顧問先企業から、急な借入が必要になって試算表の作成を依頼されることが少なくなっている。売上が伸び、資金繰りが楽になってきている企業が増えている。今後、やや良い状況となる。
変わらない	食料品製造業（企画担当）	・販売先の売上は回復傾向にあるが、既存店ベースでは依然として前年を下回っている。 ・原油価格、原材料価格が高騰しており、特に主要原材料である砂糖の価格が上昇している。しかし、販売価格への転嫁は難しい状況である。金利の上昇も、経営にはマイナス材料である。	
	化学工業（人事担当）	・アメリカ経済の動向や中東情勢、原油価格、テロのリスク等に影響されやすい。大きな変化はないが、しばらく景気の改善は期待できない。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・新しい客との取引が始まって、すぐに売上には結び付かない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・業種によっては上向きのお話をしている取引先もあるが、まだまだ伸び悩み、あるいは悪化傾向もみられる。全体的にみれば、売上の増加もなく、横ばいが続く。	
	電気機械器具製造業（企画担当）	・テロや原油価格の高騰など懸念材料はあるが、商品需要はおう盛であり、しばらくは今の状況が続く。	
	輸送業（従業員）	・原油価格の高騰により、物流関連や石油製品を扱う産業では総じて厳しい状況が続く。ただし、残暑が厳しい影響で、好転する業界もある。	

	輸送業（エリア担当）	・燃料価格は毎月値上がりしているが、燃料の節約や定年退職者の再雇用、女子のパート化といった人件費の見直し等で、今のところ切り抜けている。しばらくはこのままの状態が続く。	
	広告代理店（制作担当）	・広告の質を落としたり、数量を減らしたりして予算を抑える傾向があり、今後もこの傾向は続く。	
	経営コンサルタント	・企業の雇用形態が正社員より派遣社員重視になっているため、家計は住宅を買う余裕がない。そのため、郊外の住宅地域では値下がりが続く、ワンルームなど賃貸用アパートばかりが建てられる。今後もこの傾向は続く。	
	行政書士	・動きはあるが、燃料費の高騰により相殺される。今後も横ばいが続く。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・地元では土地やゴルフ会員権などの価格が上昇しており、ミニバブルの様相を呈しているが、一般には景気はあまり良くない。受注量も少し減少傾向にあり、今後もこの傾向が続く。	
やや悪くなる	印刷業（営業担当）	・同業者間で価格競争が激化しているが、中小企業は価格面で大企業に対抗できず、大企業が低価格で受注していく状況になっている。今後大企業と中小企業の格差は更に開き、中小企業はますます苦しくなる。	
	化学工業（企画担当）	・原油価格の影響が大きく、今後もその動向に左右される。	
	金属製品製造業（従業員）	・プロジェクトが一段落しており、今後仕事量は落ち込む。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・建設事業に受注情報はあがるが、一時の勢いはなくなっている。受注先との値上げ交渉も長引いている。今後も厳しい状況が続く。	
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・当社は物流を運送会社に発注しているが、燃料価格の高騰により、運送会社から運賃の値上げ要請が来ている。しかし、値上げを受け入れると、当社でもそれを販売価格に転嫁できないため、運送会社には値上げには応じられないと言っている。将来的には、そのしわ寄せが出てきて、景気は悪くなっていく。	
	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・アメリカ経済が失速することになれば、販売に大きな影響が出てくる。	
	建設業（経営者）	・相変わらずの価格競争で、適正価格を保つことは、今後も非常に難しい。	
	公認会計士	・コスト高が好転する見込みがない。また、大手金融機関の中小企業に対する支援姿勢も全くない。	
悪くなる	鉄鋼業（経営者）	・経営が改善する材料は全くなく、受注量は日々減っている。小企業にとって頼みの綱である大企業からの設備の依頼や生産の外注は、見積すら来ていない。今後も厳しい状態が続く。	
	金属製品製造業（経営者）	・市場の拡大を望むことができないなかで、同業者間の価格競争は依然として続く。	
雇用関連	良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・自動車関連企業をはじめ、あらゆる産業からの求人依頼が増える。中小企業からの求人も増加する。
	やや良くなる	人材派遣会社（経営企画）	・顧客企業からの技術者ニーズは衰えることがなく、今後も活発な状況が続く。
		人材派遣会社（社員）	・今後も、金融機関からの求人が増えることは確実である。
		求人情報誌製作会社（編集長）	・10月に名古屋駅前に高層ビルがオープンすることに伴い、地元の景気も良くなる。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	・人材不足感は依然として強く、求人ニーズはまだ伸びる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・10月の新車発表を前に、自動車メーカーの期間工募集が9月から始まるなど明るい材料があり、やや上向いていく。
		職業安定所（所長）	・新規求職者数が減少傾向にあるなかで、就職者数はやや増加している。企業の採用意欲も依然としておう盛であり、就職環境は今後もやや良くなる。
	民間職業紹介機関（職員）	・金融関係、バイオ関係やその他一般企業でも、求人数は増え続けている。特にバイオ関係の求人増加が最近顕著である。ただし、登録者数が少なく、注文に応じるまでに長い日数が掛かる状況も、今後も続く。	
変わらない	人材派遣会社（経営者）	・技術系の人材不足は今後も続く。	
	人材派遣会社（社員）	・社員を直接募集する企業が増えつつあり、派遣会社への新規登録者数は伸び悩んでいる。人材不足は今後も続き、派遣会社にとって厳しい環境に向かっている。	

	新聞社 [求人広告] (営業担当)	・ 求人広告の量は、季節変動を除くと、ほぼ横ばいが続く。
	職業安定所 (職員)	・ 有効求人数はほぼ横ばいであるが、前年比の増加幅は3か月連続して縮小しており、有効求職者数も緩やかに減少している。活発な労働移動はみられず、今後も横ばいが続く。 ・ 医療関係では、介護保険法の改正に伴い、経営が悪化した事業者による人員削減の動きがみられる。
やや悪くなる	人材派遣会社 (社員)	・ これまでは就業中の人が多く、派遣登録希望者が集まりにくかったが、最近では登録希望者数は少しずつ増加している。その背景に、離職中の人が増え始めていることがある。
	アウトソーシング企業 (エリア担当)	・ 少し落ち着いていた求人数は再び増加しつつあるが、登録者数の増加対策を試みても成果が上がらない。求職者も長期雇用を希望しており、人材派遣業界を敬遠しつつある。
	職業安定所 (職員)	・ 運送業では燃料費のコスト高を価格転嫁できず、求人数を3割近く減らしている。今後も原油価格の上昇が続けば、これまで賃金抑制などでしのいできた事業者は、価格転嫁するか倒産するしかない。どちらにしても、今後の景気にとって良い材料ではない。
	職業安定所 (職員)	・ 原油価格高騰の影響を受けた求人企業が増加しているため、非正規雇用の求人数は一段と増加している。大企業では景気が良いが、中小企業では、忙しい割には良くない。今後もこの状況が続く。
悪くなる	-	-